



# 本願寺長野別院からの手紙 <冬・新年号>

(長野別院・定専寺・善立寺)

## 年末、年始にあたって 尊く大切な毎日を精一杯

今年一年を終えようとしています。そして、1月1日を迎えようとしています。このたびは「おめでとう」とは言い切れないお正月になりそうです。



昔はこの日にそろって年を重ねることから特別な日であり、「おめでとう」だったのでしょうか。しかし今は、24時間のお店もあちこちに「正月らしさ」が実感できないという方も多く、特に今年は、新型コロナウイルスに振り回され、未だ終息の目途が立たない状況ですので、相手を気遣う言葉が何より大切だと考えています。

### 震災

食倒毒末金戦帰虎災愛命偽変新暑絆金輪税安金北災令に続いて、二〇二〇(令和2)年を表す漢字は何になるのでしょうか。大きな災害とオリンピックがあった年に同じ漢字があるものの、二年続いている漢字はありません。ですから、世の中は常に移り変わるのです。新型コロナウイルスによる混乱もやがて収まるはずですが、安心してできる日がやってくるはずですが、再び心配しなければならぬ日々が来ないとも限らないのが私たちの現実です。その現実を乗り越えて歴史は今に続いています。今を担う私たちが、次につないでいく大切な役割を果たすときであると認識したならば、

いよいよ一年365日の一日一日が、尊く大切なものになってきます。皆さんは明日からの毎日をどのように生きられますか。



## 御正忌報恩講

京都・西本願寺では、1月9日の午後から1月16日の午前中まで御正忌報恩講がおつとまりになります。「報恩講」は、宗祖親鸞聖人のご苦勞をしのび、そのご苦勞を通じて、阿彌陀如来のお救いをあらためて深く味わわせていただく法要です。また、「御正忌」が上についているのは、まさにその日、祥月命日におつとめしているからです。

### 報恩講

願寺第3代宗主覚如上人のとき、親鸞聖人の33回忌にあたって著した『報恩講式』に由来します。その報恩講では、同じく覚如上人による『御絵伝』や『御伝鈔』を通して親鸞聖人のご生涯について見たり聞いたりします。その『御伝鈔』には、親鸞聖人のご往生の様子子が次のように記されています。

「聖人 弘長二歳 壬戌 仲冬下旬の候より、いささか不例の氣まします。それよりこのかた、口に世事をまじへず、ただ仏恩のふかきことをのぶ。声に余言をあらはさず、もつばら称名たゆることなし。しかうしておなじき第八日「午時」頭北面西右脇に臥したまひて、つひに念仏の息たえをはりぬ」



『御絵伝』第4幅 第3段 聖人ご往生の様子

第8日ですから11月28日(旧暦)のお昼頃に、声ではなく念仏の「息」が絶えたとあります。これにならって7日間(最初の日は午後から、最後の日のお昼まで)のご法要が西本願寺ではお勤めになられているのでしよう。

ところで、念仏の「声」ではなく「息」が絶えたという表現について、次のような話を聞いたことがあります。みなさんは「声」を出すときは無意識ですか。無意識に声を出すときは寝言を言うときくらいではないでしょうか。声を出すときは考えた上で、意識して発言しているのではないのでしょうか。それに対して「息」はどうですか。常に意識して息をしていますか。そのようなことはないはずですが、きつと寝ているときは何も意識せずスヤスヤと息をして寝ていることでしょうか。このような違いがあります。

ですから、親鸞聖人のご生涯にあつては、念仏は息と等しいものであつて、生活の中に念仏があつたのではなく、念仏申す中にご自身の生活があつたということなのでしょう。

### 念仏

念仏を申す人生はお礼を申す人生と味わいます。ですから、感謝の中に人生を歩まれたのが親鸞聖人であると伺うものです。「本願力にあひぬれば、むなしくすぐるひとぞなき 功德の宝海みちみちて 煩惱の濁水へだてなし」という70歳代半ばでのご和讃があります。よく現代語訳で「仏さまの願いに出遇ったならば」等と訳されていますが大間違いです。私のあり方がどうであれ、仏さまの願いが私のはからいを超えて、すでに私がその願いの中であればこそ、むなしくないと言いつた切られたのです。

念仏申す人生については、次の号であらためてふれてみたいと思います。

## 米国大統領選挙

トランプ大統領が2期目をかけて、バイデン候補と選挙戦が繰り広げられてきました。そのなかで、トランプ vs バイデン「初のテレビ討論会」は勝者なき泥仕合などと表現され、紹介されていました。お互いがお互いを罵り合い、ときには語気を強めて悪口、非難の応酬であつたようです。



ところで、法蔵菩薩が阿彌陀如来になるための四十八願の第一願は、「地獄・餓鬼・畜生」がテーマです。阿彌陀如来の浄土には地獄・餓鬼・畜生がないことを、私たちに願いの内容とされるのです。ということは、私たちは日常で簡単に地獄・餓鬼・畜生になつていくということなのです。地獄の「獄」は獣が向き合つて言い争う姿を表します。そこには相手に対する敬意もなければ、我が身を振り返ることもありません。つまり、慚愧の思い「ごめんなさい」「お恥ずかしい」の気持ちも失つた姿なのです。

いかがですか。また、このようなことはありませんか。怒りにまかせたときだけではありません。何気なく、本当に相手を思い、よかれと思つてとつた行動が思いもよらず相手に不快な思いをさせたとき、どうですか。「そんなつもりじゃなかった」と思うのが私たちです。そこには自分の正当性を第一とする私がいるのです。ときには「せっかくなしてあげたのに」と逆ギレするのが私ではないでしょうか。「餓鬼・畜生」については、いずれまたにしますが、阿彌陀という仏さまは、人ごとではなく、このような私を見抜いた上で「願い」を立てられたのです。



元旦会

1月1日(金)朝7時30分

御命日法要・常例法座

12月16日(水)・17日(木)

1月16日(土)・17日(日)

※新型コロナウイルス感染拡大に鑑みて休座

2月16日(火)・17日(水)

講師 三寄 靈証師 (福井県勝山市 西宮寺)

3月16日(火)・17日(水)

講師 長井 順一師 (新潟県上越市 浄善寺)

※いずれも午後1時30分から

春季彼岸会

(20日、物故者追悼法要・永代経法要 併修)

3月19日(金)〜21日(日)

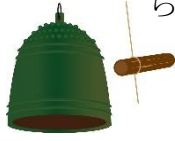
※講師は長野教区布教団の方々が務めます。

※いずれも午後1時30分から

お晨朝(朝のおこめ)

※毎朝7時30分から

心と身体の健康のためにも、一週間に一度でもお参りください。



◆年間の法要等行事予定は別紙「ご案内」をご参照ください。

◆どなたさまもどうぞお参りください。とりあえずお念珠があれば大丈夫です。お経本は貸出がありますので、ご利用ください。ご懇志をお持ちいただければ有り難いです。本堂入口より右側に帳場(受付)がありますので、お届けください。また、そこでもお聞きください。

◆感染防止対策を行ったうえでの勤修です。マスクの着用にご協力ください。



本願寺長野別院創立100周年に向けて

1925(T14)~2025(R7)

創立100周年に向け、主に次のことについて、役員会にて計画しています。なお、厳しい世の中の状況ですから、できる範囲で計画を立ててすすめてまいりたく思います。ご理解と協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

計画 その①

境内墓地の整備

「お参りしやすい足もと」計画

昨今の傾向として、「宗教関連統計に関する資料」

(文化庁「平成26年度宗教学法人等の運営に係る調査」)に、昭和54年から平成20年までの30年間、宗教に関する事で行っていることについての推移が記されてありました。「盆や彼岸の墓参り」は69.3%から78.3%に、「正月の初詣」は56.0%から73.1%に、「仏壇に手を合わせる」は48.9%から56.7%へといずれも増加しています。「寺離れ」「仏教離れ」などといわれる状況の中で、そうした傾向は有り難いことです。

現在、長野別院の境内地にある墓地は、区画が入り込んでおり、足もとは小石や埋まった石などで歩きにくい状況です。そこで、お参りしやすい足もとを確保すべく、区域割りして数年間をかけて、墓地参拝動線の整備を行う予定です。



今、墓地を使用されている方々にはできるだけ負担をかけるないように実施して参りたいと思います。ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

▼また、今後、整備事業を行うにあたって、墓地の空き状況を整理し、空きスペースにはロープやクイで表示していますので、長野市中心地での墓地をお探しの方はご自由に見学してください。またお気軽にご相談ください。

計画 その②

桜の木の下の合葬墓と

一時預かり納骨壇の活用計画

様々な事情から、お墓のことで心配されるなかで、合葬墓の需要が高まりつつあります。この状況を受けまして、

現在、本堂北側の桜の木の下にある合葬墓の活用を検討してきましたが、発展的な考え



がまとまらず、取り壊しも周辺状況から難しいとされてきたため、新たに場所を設けての合葬墓設置計画を予定していました。しかし、現在ある合葬墓の解体が可能となったことを受け、現在の場所に新たな合葬墓を建設する計画があります。

お墓を有されない方や諸事情でお骨を一時的に預けなければならぬ方々のために、期間を設定しての一時預かり納骨堂を活用する計画も予定しています。一時預かりを経て合葬墓への埋葬も可能ですので、ご参考にしてください。

計画 その③

お参りしやすい環境整備

本堂トイレの改修計画

現在、本堂の南側にあるトイレは男女共用となっております。非常に使いづらいという意見が寄せられています。そこで、構造上男女別に区切ることは不可能ですが、仕切りと表示を用いて区分を明確にし、現代の生活様式に適應した洋式トイレを用いて、改修する工事を近々予定しています。



長野別院境内墓地 使用希望者募集中

長野別院創立100周年に向けてお参りしやすい環境作りを進める中で、境内墓地の使用状況についても調査を行ったところ、ご覧の場所について「空き」があることがはっきりしましたので、情報を公開いたします。長野市西後町にお墓を設けたいとご希望の方はご連絡ください。なお、永代使用冥加につきましては、畳半畳あたり50万円をお納めいただきます。また、年間の維持冥加(通路清掃代)は一律2千円をお願いいたします。ご参考までに。



ペットとの別れ

最近、家族の一員としてペットと暮らす方が少なくありません。そのペットと別れを経験された方もたくさんいらっしゃるかと思います。ペットを巡っての信仰上の受け止めは様々だと思いますが、私たちは、同じ「いのちあるもの」との別れを縁とした「悲しみ」に寄り添った活動をしていきたいと考えます。



<前号の答え>

なぜ毎月22日がショートケーキの日? それは、カレンダーを見るとわかるように、毎月22日の上には必ず15日(イチゴ)があるからです。



<迷信の入口> ※入らないでください!

☞誰かが言いました。だから兄弟になったんだと。

☞ワウマウコ ××××× カのシ○キ○



☞犬は英語で「Dog」ネコは「Cat」。カッパは?

→こたえ「レインコート」

※迷信なんてものは、語呂合わせや言葉遊びみたいなものからなのです。

<例えば4=死 9=苦>